

みやしん経済講演会開催



令和1年8月23日（金）宮城第一信用金庫（理事長 菅原 長男）は、当金庫の外郭団体である「みやしん絆クラブ」「宮信オーナーズクラブ」「みやしんファーストレディースクラブ」の3団体と共催で、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 参与 景気循環研究所長 嶋中 雄二氏を講師に迎え、「内外景気の現状と今後の見通し～消費増税後の景気を読む～」と題して「みやしん経済講演会」を開催致しました。

嶋中氏による「みやしん経済講演会」は今回で10回目となりました。仙台市青葉区の江陽グランドホテルを会場に、当金庫取引先をはじめとして300人を超える多くの方にご出席をいただきました。

嶋中講師は、米中貿易摩擦を始めとした海外情勢の動向に懸念を示したうえで、短期的には、米国が2019年夏以降に景気後退する可能性を指摘し、今後の国内経済に与える悪影響には警戒が必要との認識を示されました。しかしながら、長期的には、訪日外国人の増加に伴うインバウンド消費の拡大、ならびにオリンピック・パラリンピック後も継続が見込まれる東京の大規模再開発や2025年万博開催に向けた大阪に加え、地方の主要都市においても再開発が続くことから、国内経済に対する強気の見通しを示されました。



出席者からは、世界的な景気動向や消費増税の日本経済への影響等の現状分析に加え、中長期的な景気見通しを分かりやすく解説いただき、今後の事業を行っていく上で大変参考になったとの感想が寄せられるなど、有意義な講演会であったと好評いただきました。